

令和7年度 中部版スクラム教育事業

「第2回生徒指導担当者研修会」

令和7年8月6日(水)、湯梨浜はごろもホールにて標記研修会を開催しました。2回目となる今回は、「不登校の未然防止と適切な支援」をテーマに研修を行いました。

包括的な児童生徒支援を行っていくためには、生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援が重要であるため、各学校から生徒指導担当と教育相談担当の2名に参加していただき研修を進めました。

前半は、各学校の不登校の未然防止の取組についての協議や倉吉市立西中学校の取組を聞くことで、自校の取組を客観的に見つめ直す機会を設定しました。後半は、児童生徒理解を基にしたアセスメントについて、グループ演習を通して体験的に学び、組織的に対応していくための具体的な手法について理解を深めていただきました。

以下、参加者の振り返りをいくつか紹介します。

- 不登校の未然防止における他校での取組を聞くことができ、自校で改善すべきことがはっきりした。また、各校2名の参加だったため、担当者同士で話し合うことができた。
- 不登校について、本人や担任、保護者の問題として捉えてしまいがちだが、不登校の背景にある要因を多面的かつ的確に把握し、早期に適切な支援に繋げるアセスメントの視点が重要だと感じた。2学期以降の不登校の未然防止と適切な支援に向けて、アセスメントを実践していきたい。
- アセスメントやプランニングなど、グループで協議する中で、自分の考えつかなかった方面からの意見もあった。チームで様々な視点で情報を共有しながらアセスメントを行い、個に応じた適切な支援に繋がっていききたい。
- 西中の取組は、学年団がチームとなって生徒の様子を共有し今後の対策を考えることで、教師の生徒を見る視点が変わったり生徒への関わり方の引き出しが増えたりすることにも繋がっていた。自校でも、BPSモデルのアセスメント研修を実践していきたいと思う。

